

コトラカミキリ

Plagionotus pulcher (Blessig)

コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

全国的に産地が減少している種で、県内では1950年代の古い記録があるのみである。

形態

体長は12～16mm。中型のトラカミキリで、がっしりした体形をしている。体の地色は黒色で、頭部に2本、前胸背板に2本、上翅に5本の黄帯を持つ。脚と触角は黄褐色。触角は太く、オスで体長をわずかに超える。スズメバチ類に擬態していると思われる。

国内分布

北海道、本州（長野県、福島県）。

県内分布

白山市（旧白峰村）。

生態

成虫は5～8月に見られ、ミズナラなどブナ科の新しい伐採木や倒木に飛来する。幼虫はそれらの枯死部を食する。

生息地の条件

ブナ科植物の多い広い面積の森林の存在が必要である。

生存の危機

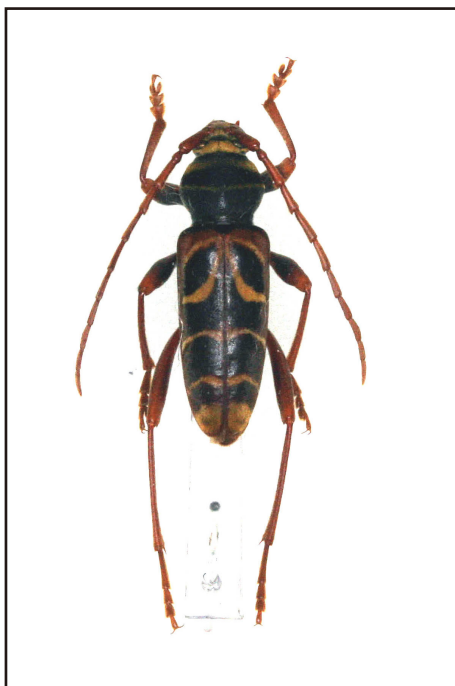
大きな環境変化のない山地帯においても近年の記録はまったくなく、減少の要因は不明である。(A)

特記事項

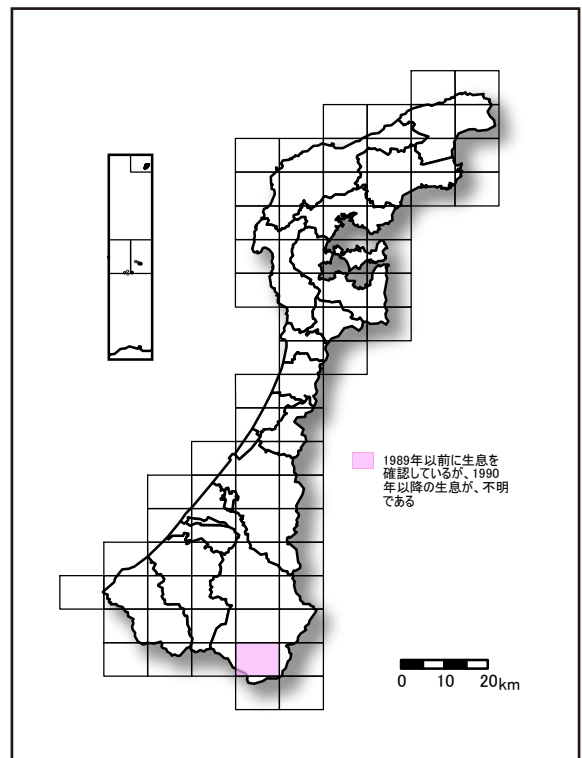
県内には、本種に良く似たクリストフコトラカミキリが分布しているので同定に注意を要する。

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫 : 197-217. 石川県自然保護課.



標本提供者：井村正行



県内の分布